

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

【取り組みの事実】

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

【取り組んでいきたい項目】

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

【取り組んでいきたい内容】

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】(アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム「さくら」
(ユニット名)	1階、2階
所在地 (県・市町村名)	静岡県静岡市清水区梅ヶ谷645-13
記入者名 (管理者)	田中 和宏
記入日	平成 21年 2月 1日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
	「尊厳を大切に、家庭的な雰囲気の入所者の個性を生かし、介護しながら日常生活の支援を行います。」 上記をホームの理念として掲げています。		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	職員間で理念の実践に向けて話し合いをして、日々のケアにつなげていきたいと思っています。
	理念の重要性について勉強会を行い、理念の共有を目指していますが、十分に実践出来ていません。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	運営推進会議を利用して、地域の人々や家族に理念を浸透させていきたいと思っています。
	ホーム玄関に理念の掲示を行い、利用者や来訪者の目に入るようにしています。		
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		
	毎日の挨拶はもちろんの事、地域行事にも出来るだけ参加するようにしています。またホームの行事の際は、近隣の保育園や工場に依頼して駐車場をお借りしたりしています。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	地域行事への参加率を高めていきたいと思っています。
	自治会に加入して、地域行事には出来る限り参加するようにしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域包括会議にて、グループホームがその特性を活かし、隣近所の介護相談を受けれるように努力する事と指摘がありました。具体的には取り組めていません。	○	掲示板を設けるなどして、隣近所の方々が、気軽に介護や認知症の事についてホームに質問や相談に来れるようにしていきたいと思います。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価結果を真摯に受け止め、向上を目指すように努力していますが、職員全体の意識としては、まだ理解が十分ではありません。	○	スタッフ会議やミーティング等の場において、課題を職員全体で認識し、改善に向けて話し合いをしたいと思います。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族及び近隣の方々、提携病院関係者の方等より頂いた意見に沿えるように努力しています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者と行き来する機会がなく、連携が不十分だと思います。	○	電話やFAXだけのやりとりではなく、行き来をしてホーム運営上の課題を理解して頂き、協力関係を築いていきたいとおもいます。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	具体的にそのような研修には参加出来ていません。	○	今後は全職員を対象として、外部研修に積極的に参加出来るようにし、それをもとに施設内研修も充実させたいと思います。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会は、具体的に持っていないですが、職員各自が防止に努める意識をもつように働きかけています。	○	今後は全職員を対象として、外部研修に積極的に参加出来るようにし、それをもとに施設内研修も充実させたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	改善策を職員全員で共有し、同じ不快感を与えないように心掛け、他の利用者からも同様の苦情がないように、職員の意識を高めて行きたいと思いをします。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	○	家族との関係を密に出来るように、ホームでの行事への参加の呼びかけや、家族会の開催等についても考えていきたいです。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	家族からの苦情に関して、スタッフ会議にて申し送り、速やかに改善出来るように対処しました。今後も苦情を頂いた場合は速やかに対処し、再発の防止に努めたいと思いをします。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	○	外出企画は今後も継続していき、要望の変化に柔軟に対応して、ニーズに沿った新たな企画等も考えていきたいと思いをします。
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	○	全職員で協力して、利用者にとって馴染めて落ち着けるホーム作り、人間関係作りを心掛けていきたいです。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に参加した際は、スタッフ会議等の場で全職員に対して報告を行い、研修資料に関してはいつでも閲覧出来るようにしています。	○	内外の研修を受ける機会をもっと増やして行きたいと思います。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列および提携病院との交流会は行っていますが、その他の同業者との計画的な交流は行っていません。	○	職員の資質向上やサービスの質の向上の為に、系列以外の同業者と相互訪問等の交流をする機会を作りたいと思います。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員旅行や親睦会などを企画し行っています	○	働き易い職場作りの為に、日々の環境づくりについて、職員の意見も取り入れて検討したいと思います。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	適宜管理者と連絡をとり、状況把握を行っています。必要に応じ直接ホームで状況確認も行い、向上心がもてるように助言や指示をしています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族及び現在の利用サービス事業者を介して情報収集をしています。本人自身からのヒアリングは十分には行えていません。	○	入居前に、出来るだけ本人自身から意見を聴けるように、時間を作りたいと思います。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談があった際には、ホームに見学に来て頂き、その場で家族の不安や要望をよく聴くようにしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在の状況やニーズをよくお聴きして、当ホーム以外の選択肢についても説明し、施設見学もお勧めしています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学に来ていただく際には、出来る限りご本人にも同席して頂き、他の利用者や職員の輪の中に入って頂き、当ホームの雰囲気を感じて馴染まれるか様子を見て、ご家族と相談しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩である利用者に敬意を持ちつつ、共生ということを考えながら日々のケアに臨んでいます。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の要望や都合を考慮しながら、家族にしか出来ない事について説明し、協力をお願いしています。	○	さらに家族との連携を密にし、一緒に本人を支えていけるように、家族会の開催等について検討していきたいと思えます。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族の関係を尊重し、あくまでも職員はサポートとしての立場を守るようにしています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙や年賀状を送れるように支援したり、電話をとりついでたりして馴染みの人との関係が途切れないよう、支援しています。	○	散歩や外出企画の際に馴染みの場所に立寄れるように、考慮して行きたいと思えます。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	席の配置や居室の配置を考慮し、それでも足りない場合は職員が間に入り関係を維持および向上できるようにしています。	○	間に入る職員のコミュニケーション技術の向上を、目指して行きたいと思えます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	希望がある場合は可能な範囲内で応じるようにしています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入浴時や定期受診の送迎車中や個別外出時等に、利用者と1対1で長時間係わり、会話することで利用者の思いを把握出来るように、努力しています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴の把握は十分に出来ていない方もいます。	○	本人やご家族との話し合いを充実させ、少しでも多くの情報を収集して行きたいと思います。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	各利用者に担当職員をつけ、担当職員が中心となり。利用者の現状を把握し、適切なサービスを提供出来るように、努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	各利用者担当職員が、課題とケアのあり方について意見をまとめ、それをもとに計画作成担当者が、定期としては3ヶ月に1回の見直し、状態が変化した場合にはその都度、見直しを行っています。	○	家族や必要な関係者との話し合いをもう少し持てるように、運営推進会議等を活用して行きたいと思います。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期としては3ヶ月に1回の見直し、状態が変化した場合にはその都度、見直しを行っています。	○	家族や必要な関係者との話し合いをもう少し持てるように、運営推進会議等を活用して行きたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を毎日のスタッフで記入し、いつでも記録内容が確認できるようにファイルしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	要望には出来る限り応じるようにしています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	必要に応じて交流を持つようにしています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	協力病院内にある、居宅支援事業所のケアマネと話をするなどし、少しでも本人のための支援が行えるようにしています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センター主催の会議に参加することはありますが、特に具体的なケアマネジメントについて話し合いをしていません	○	今後包括支援センターに運営推進会議に参加していただいたり、意見交換の場を少しでも多くしたいと思います。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携病院での月1回の定期健診受診や、訪問看護師による週1回の健康管理を行っています。本人及び家族が、以前からのかかりつけ医を希望された場合は、そちらの病院への通院介助も行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	提携病院の複数の医師といつでも連絡がとれるようにして頂いています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携をとり24時間体制で健康管理を行っています		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	総合病院の病診連携室と日頃から連絡をとったり、挨拶に伺ったりしながら連携を常に図り、入居者が入院した場合もより密に連絡をとるようにしています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の方針を紙面でかわし、日常的に状態が変化した場合も必要に応じて家族に連絡し相談をするようにしていますが、終末期のあり方については、方針の共有がなされていません。	○	今後各家族とより具体的な方針について話をしていくとともに、全職員で終末期の対応について、話し合いの場を設けたいと思います。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現時点では、今後の変化に備えての検討や準備は出来ていません。	○	全職員で終末期の対応について、話し合いの場を設け、事業所の「できること・できないこと」を考えていきたいとおもいます。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境の変化による精神的な変化を最小限におさえ、できるだけ負担にならないように、話し合いを行い使用する日用品などの配慮を行うようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	尊厳を大切にするように、言葉かけや対応を配慮しているが、全職員で徹底されていない所があります。また、業務に追われ記録のファイル管理が雑になってしまう事があります。	○ プライバシーや個人情報の重要性を、しっかり認識していくように心掛け、尊厳を大事に出来るように、職員の教育をしっかりとやりたいと思います。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	基本的に声掛けを行い入居者本人に決定してもらい、あくまでもスタッフは補助をする立場での業務としています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはありますが、安全面上無理がない限り、入居者の希望に沿うようにしています	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容・美容は希望があれば本人の望む店に行けるようにしています。特に希望がなければ訪問散髪にて行っています。季節ごとに一緒にタンス内を整理したり、本人の希望にあわせ、必要な衣類を一緒に選び購入したりしています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	安全面や利用者が納得する役割に配慮しながら、可能な限り炊事に参加してもらっています	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒、たばこの提供は現在行っておりません。基本的な栄養管理はさせていただいていますが、お菓子等については好みを配慮しながら楽しんでもらっています。	○ 飲酒を希望される利用者に対して、家族の意向も伺ったうえで、安全面、健康面を考慮して提供できないか考えていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	定時での排泄誘導の他に、排泄チェック表を活用して、個人の排泄リズムの把握に努め、少しでも排泄の失敗やおむつの使用が減るようにしています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	フロアでの安全面を考慮して、一人ひとりの希望やタイミングに合わせた支援が完全には出来ていません。	○	可能な限り本人の希望に沿えるように、回数や時間帯を考えて支援していきたいと思います。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣に応じて、夜間に加え、日中も適度な休息および昼寝ができるようにしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や後片付けを、自分の役割としてやっている利用者もいるが、全ての利用者に役割や楽しみごとを定着出来ていないと思います。	○	全ての利用者が、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、本人の思いをくみ取り、力を活かした役割を持って貰えるように、センター方式等も活用して、情報収集に努めていきたいと思います。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	日常的な金銭管理は職員がしていますが、外出時には出来るだけ本人に管理してもらえるように、努めています。	○	家族の理解のもと、利用者一人ひとりの希望や力に応じた金銭管理が出来るように、支援していきたいです。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やドライブのほか買い物等常に屋内にこもらないように、利用者の希望や安全面に配慮して対応しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	全利用者の希望をもとに、外出計画を立て個別又はグループ別に外出支援を行っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状等季節の手紙を出す支援をしたり、日常手紙を出される利用者は、一緒にポストまで投函しに行ったりしています。電話に関しても必要に応じて取次いでいます。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	特に制限は設けずに、訪問を歓迎しています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が、具体的に正しく理解出来ているかは不明ですが、拘束をしないケアを心掛けています。	○	外部研修や内部研修により、全職員が正しい知識を持てるようにしていきたいと思います。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間帯以外は玄関の施錠は行わず、居室は常時施錠は行っていません。天気の良い日は玄関を開放しています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜通して各ユニットの職員で、利用者の所在を把握して、利用者の安全の確保を第一に考えて業務を行っています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品に関しては、一般家庭と同じような保管・収納をして、利用者の希望に応じて見守り等を行いながら、使用していただいています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリ・ハット等の具体的事例に関しては、カンファレンスで対策を検討しています。	○	職員全体で、日常起こりうる事故についての勉強会等を行いたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	現在は全ての職員に対しての研修は、行えていません。	○	外部研修や提携病院の看護師を招いての内部研修を考えています。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を行うなどしていますが、地域の人々との連携は十分とはいえません。	○	定期的な避難訓練を今後も行い、そこに地域の方達も参加してもらえるように、呼びかけていきたいと思ひます。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	全ての家族とは十分に話し合いが出来ていません。	○	面会時や運営推進会議時に家族に説明をして、話し合いをしたいと思ひます。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	各ユニット内での情報の共有はもとより、異変がある場合は職員全体で、情報を共有出来るようにしています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者個別の処方薬ファイルに目を通して、効能等を理解できるように努めていますが、症状の変化等確認・申し送りが不十分な場合もあります。	○	症状の変化の確認や申し送りが、十分に行えるように職員の意識を高めていきたいと思ひます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけ等に取り組んでいる	便秘予防の意味も含み毎日の生活の中で、出来るだけ身体を動かしてもらえるように、散歩や外気浴や体操を行っています。	○	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後必ず口腔ケアを行い、口腔内の清潔保持に努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養管理は提携病院の管理栄養士を通じて行っています。水分や食事の摂取量に関しては、チェック表を用いて管理しています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症防止マニュアルに基づいて対応しています。日常的には手洗い・うがいの励行と湿度管理の徹底に努めていますが、消毒に関しては行き届いていない部分もあります。	○	共同使用の物等の消毒を定期的に行っていききたいと思います。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	随時調理用具等の殺菌消毒を行っています。食材は提携業者から新鮮で安全なものを納入し、衛生的に管理しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	天気の良い日は玄関ドアを開放し、出入りがしやすいようにしています。建物周囲も清潔感を損なわないように、日常的に清掃するようにしています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	手すりの取り付けや段差を無くす等、安全面に配慮し、安心して過ごして頂けるようにしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアには畳敷きの掘りごたつやソファがあり、利用者が思い思いに過ごせるようにしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力のもと、本人のなじみの物を持ち込んでいただいたりして、利用者が安心して過ごせるようにしています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	室温調整、換気、加湿等は適宜行っています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーの建物になっています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	業務ではなく、利用者の生活リズムに合わせたケアを心掛けています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関周りのベンチで一休みされたり、庭やプランターの草花の手入れを楽しんで頂けるようにしています。		

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	③たまにある
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input checked="" type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input checked="" type="radio"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input checked="" type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当ホームは提携病院との柔軟かつ綿密な連携により、入居者が病状悪化などでホームでの生活に不安がある場合は、緊急的な外来受診から入院治療まで行ってもらうことが可能で、その事が入居者及びご家族の安心につながっていると思います。日々のサービスとしては、入居者の要望に沿う形で個別もしくはグループ別での外出企画に力を入れており、外出を通してスタッフと入居者の信頼関係がより深まっていると思います。また、他の要望に対しても迅速かつ適切に対応できるように努めています。